

都市再生整備計画 事後評価シート
下田地区2期

平成29年2月

奈良県香芝市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	香芝市		地区名	下田地区2期			面積	16.4ha	
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	433百円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	—								
			提案事業	地域創造支援事業(健康増進施設設置事業)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(広場)	緑地広場として整備を予定していたが、都市公園法に基づく公園の整備を計画したため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			なし	
			提案事業	地域創造支援事業(地域防犯施設整備事業)	当初防犯ステーションの設置を計画していたが、地元、警察と協議を図った上で設置困難となったため。						なし	
	新たに追加した事業		基幹事業	公園	緑地広場として整備を予定していたが、都市公園法に基づく公園の整備を計画したため。						なし	
			提案事業	—								
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
		変更	—									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅前広場等維持管理活動参加者数	人/年	34	H22	70	H27	○	あり なし	駅前の景観保全のため人々の関心が高まったものと考えられ、維持管理活動の参加人数が増えた。		
	指標2	駅前周辺の安全性に対する満足度	%	27	H23	50	H27	○	あり なし	公園内の園路及び国道165号の歩道整備により、駅利用者の動線や通学路の安全性が確保された。		
	指標3	駅前周辺の景観に対する満足度	%	50	H23	60	H27	○	あり なし	老朽化した住宅の解消や、駅前広場、鹿島神社の緑に配慮した憩いと安らぎの空間整備により景観機能の充実を図った。		
	指標4								あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	ワークショップの開催により、公園供用後における景観維持や施設の維持管理について住民主体で行っていく体制づくりを行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

下田地区2期(奈良県香芝市) まちづくり交付金の成果概要

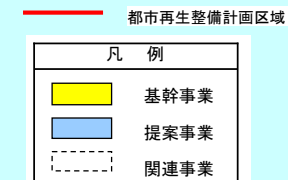
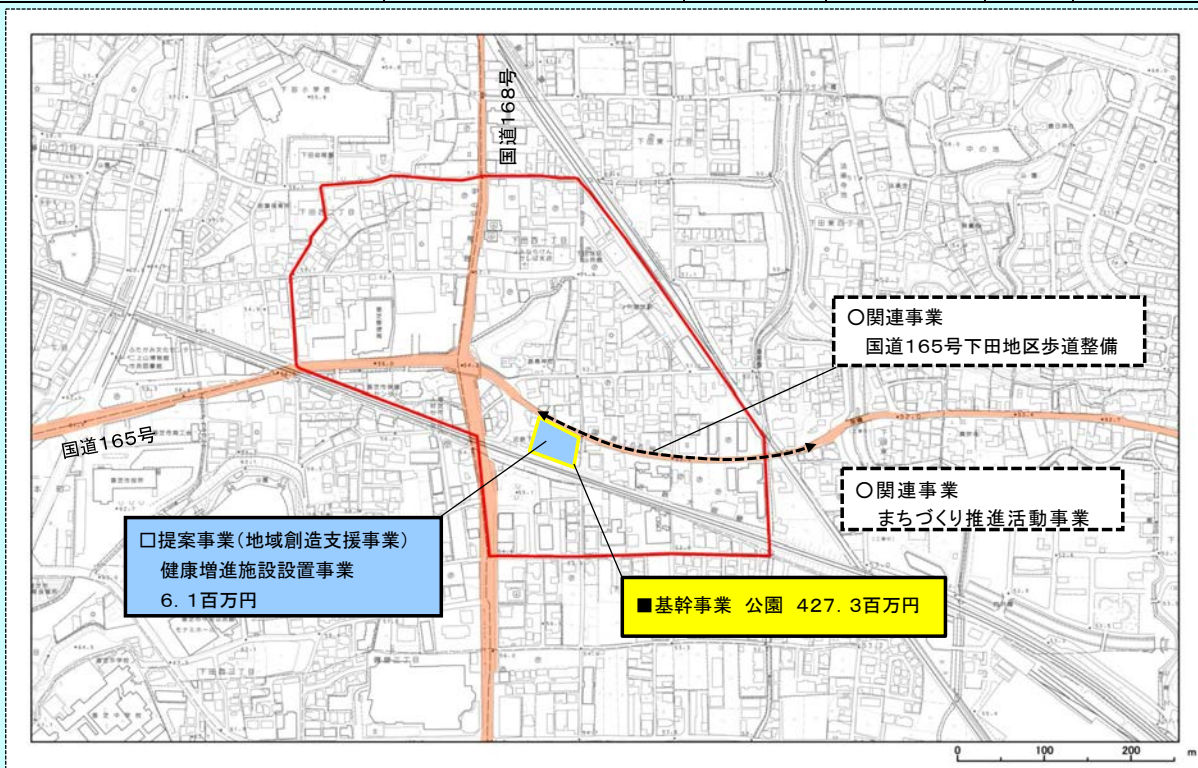
	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安全・快適な場づくりによる「であい」と「にぎわい」にあふれた香芝市の顔づくり	駅前広場等維持管理活動参加者数	単位: 人/年	34	H23	70	H27	100	H28
目標1:市民・地区住民のくらしの交流拠点の形成・にぎわいの再生	駅前周辺の安全性に対する満足度	単位: %	27	H23	50	H27	73	H28
目標2:安全性の向上と防災・防犯拠点の形成	駅前周辺の景観に対する満足度	単位: %	50	H23	60	H27	85	H28
目標3:みどりを基調とした景観形成								



●公園



●健康増進施設



まちの課題の変化

公園内に休憩施設や遊具を整備したことにより、老若男女幅広い年齢層の方に利用していただき、地域住民の新たな交流拠点の場所としてにぎわっている。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

今後もさらなる中心市街地活性化に向け、駅前周辺での定期的な美化活動により景観保全に努めることやイベント行事により駅前広場を有効活用していく。